

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月27日

上場取引所 大

上場会社名 FCM株式会社

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長

(氏名) 川森 晋治

四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

配当支払開始予定日

TEL 06-6975-1324

平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,297	△48.7	230	△24.8	270	△5.1	175	2.1
21年3月期第2四半期	12,280	—	307	—	284	—	171	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	103.03	—
21年3月期第2四半期	100.89	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
22年3月期第2四半期	8,849		3,098		35.0	円 銭 1,818.22
21年3月期	7,687		2,920		38.0	円 銭 1,713.91

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 3,098百万円 21年3月期 2,920百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	31.00	—	0.00	31.00
22年3月期	—	10.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	39.00	49.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△28.3	392	156.7	460	248.7	274	313.8	160.78

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	1,704,267株	21年3月期	1,704,267株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	108株	21年3月期	108株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	1,704,159株	21年3月期第2四半期	1,704,162株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の世界経済は、各国政府の経済政策の効果や生産・在庫調整の進展等により最悪期は脱したものの、世界同時不況の影響を引きずり低調に推移しております。国内経済も、輸出や生産が下げ止まり改善の兆しは見せておりますが、需要の回復に力強さはなく、依然として予断を許さない状況が続いております。

当社におきましては、金属メッキ加工の加工売上高で前年同期を上回ったものの、フィルム・特殊機能材と伸線加工が低迷しており、売上高6,297百万円（前年同期比48.7%減）加工売上高1,665百万円（前年同期比11.5%減）営業利益230百万円（前年同期比24.8%減）経常利益270百万円（前年同期比5.1%減）四半期純利益175百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

金属メッキ加工

急激な在庫調整の反動から受注が増加したことにあわせ、エコポイントやエコカー減税などの景気刺激策による需要増加も貢献しました。また、携帯電話やパソコン関連部品が堅調に推移しました。

フィルム・特殊機能材

減税効果により自動車生産の回復はありましたが、前期に比べ伸び悩んでおります。

伸線加工

通信用は比較的堅調ですが、設備投資・住宅投資の低迷から設備用電線が大きく減少し、当部門全体としては低位で推移しております。また、前年同期に比べ銅価が下がったことで売上高も大きく減少しております。

売上高 前年同期比較

単位：百万円

	平成22年3月期 第2四半期		平成21年3月期 第2四半期		前年同期比較	
	売上高	構成比 %	売上高	構成比 %	増減額	増減率 %
電子機能材事業	2,395	38.0	2,534	20.6	△138	△5.5
金属メッキ加工	2,182	34.6	2,257	18.4	△74	△3.3
フィルム・特殊機能材	212	3.4	277	2.2	△64	△23.3
電気機能線材事業 (伸線加工)	3,902	62.0	9,745	79.4	△5,843	△60.0
合計	6,297	100.0	12,280	100.0	△5,982	△48.7

加工売上高 前年同期比較

単位：百万円

	平成22年3月期 第2四半期		平成21年3月期 第2四半期		前年同期比較	
	加工売上高	構成比 %	加工売上高	構成比 %	増減額	増減率 %
電子機能材事業	1,313	78.9	1,369	72.8	△56	△4.1
金属メッキ加工	1,170	70.3	1,156	61.5	14	1.2
フィルム・特殊機能材	142	8.6	213	11.3	△70	△33.0
電気機能線材事業 (伸線加工)	359	21.6	522	27.8	△163	△31.2
研究開発	△7	△0.5	△11	△0.6	3	—
合計	1,665	100.0	1,881	100.0	△215	△11.5

(注) 当社では、売上高から材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

総資産は8,849百万円となり、前期末に比べ1,161百万円増加しました。これは、前第4四半期に比して主に銅相場の上昇及び受注回復に伴う売上の増加による受取手形及び売掛金の増加951百万円によるものです。負債合計は5,750百万円となり、前期末に比べ983百万円増加しました。これは、主に売上の増加に伴う買掛金の増加930百万円によるものです。

株主資本は3,098百万円となり、前期末に比べ175百万円増加しました。これは、当第2四半期の利益を反映したものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、436百万円の収入となりました。これは、主に税引前四半期純利益270百万円及び減価償却費232百万円によるものです。投資活動に使用された支出は338百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出337百万円によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは第1四半期に設備資金として長期借入金240百万円を調達しておりますが当第2四半期において長期借入金の返済及び社債を償還したため9百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて89百万円増加し、618百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

国内外とも足元の経済情勢は緩やかな回復基調にあるものの、設備投資状況・雇用情勢・為替などの不安定要因に加え景気刺激策の効果も一巡したと考えられることから、景気回復の持続性については不透明感が拭えない状況であります。特に個人消費の動向によっては、年明け以降に再度の在庫調整が行われることも想定しております。

その様な状況の中、当社では生産効率・経営効率改善への取り組みと同時に、鉛フリーメッキの民生分野での拡大、新規品種の獲得、平角線の非電線分野への参入など、引き続き需要の拡大と掘り起こしに注力してまいります。なお、通期の業績予想につきましては、平成21年9月9日付「業績予想の修正に関するお知らせ」の通りとし、変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	618,845	529,397
受取手形及び売掛金	3,408,662	2,456,876
仕掛品	162,104	126,567
原材料及び貯蔵品	232,867	235,949
繰延税金資産	32,329	7,961
その他	68,712	113,326
貸倒引当金	△1,473	△1,062
流動資産合計	4,522,048	3,469,017
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	924,278	963,720
機械及び装置（純額）	1,233,829	1,079,186
土地	1,678,923	1,678,923
建設仮勘定	66,139	32,609
その他（純額）	188,258	212,881
有形固定資産合計	4,091,429	3,967,321
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	21,743	17,523
繰延税金資産	149,801	163,189
その他	23,811	24,659
貸倒引当金	△8,352	△8,561
投資その他の資産合計	187,004	196,810
固定資産合計	4,327,230	4,218,870
資産合計	8,849,279	7,687,888

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,870,508	939,974
1年内返済予定の長期借入金	798,000	800,000
1年内償還予定の社債	150,000	150,000
未払法人税等	112,974	—
その他	257,000	284,418
流動負債合計	3,188,484	2,174,392
固定負債		
社債	175,000	250,000
長期借入金	2,005,000	1,925,000
長期未払金	28,406	32,464
退職給付引当金	221,307	201,848
役員退職慰労引当金	81,065	123,783
その他	51,486	59,616
固定負債合計	2,562,266	2,592,712
負債合計	5,750,750	4,767,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	1,584,695	1,409,121
自己株式	△369	△369
株主資本合計	3,098,946	2,923,372
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△418	△2,589
評価・換算差額等合計	△418	△2,589
純資産合計	3,098,528	2,920,783
負債純資産合計	8,849,279	7,687,888

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	12,280,151	6,297,686
売上原価	11,351,205	5,451,107
売上総利益	928,946	846,579
販売費及び一般管理費	621,848	615,642
営業利益	307,098	230,936
営業外収益		
受取利息	29	305
受取配当金	765	517
助成金収入	—	52,259
スクラップ売却益	2,654	1,564
その他	975	4,091
営業外収益合計	4,425	58,738
営業外費用		
支払利息	25,226	18,415
その他	1,450	967
営業外費用合計	26,677	19,382
経常利益	284,846	270,292
特別損失		
固定資産除却損	1,170	0
特別損失合計	1,170	0
税引前四半期純利益	283,676	270,292
法人税、住民税及び事業税	102,095	107,146
法人税等調整額	9,643	△12,427
法人税等合計	111,738	94,718
四半期純利益	171,937	175,574

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	6,111,978	3,458,858
売上原価	5,644,123	2,994,262
売上総利益	467,854	464,595
販売費及び一般管理費	316,225	316,603
営業利益	151,628	147,992
営業外収益		
受取利息	15	237
受取配当金	—	1
助成金収入	—	23,441
スクラップ売却益	528	1,249
その他	437	479
営業外収益合計	980	25,409
営業外費用		
支払利息	12,756	9,287
その他	691	698
営業外費用合計	13,448	9,985
経常利益	139,161	163,416
特別損失		
固定資産除却損	1,075	0
特別損失合計	1,075	0
税引前四半期純利益	138,086	163,416
法人税、住民税及び事業税	63,214	79,821
法人税等調整額	△10,182	△25,322
法人税等合計	53,032	54,498
四半期純利益	85,053	108,917

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	283,676	270,292
減価償却費	233,592	232,407
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10,947	△42,717
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,667	19,459
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	201
受取利息及び受取配当金	△795	△823
支払利息	25,226	18,415
固定資産除却損	1,170	0
売上債権の増減額 (△は増加)	559,517	△951,785
たな卸資産の増減額 (△は増加)	277,236	△32,454
仕入債務の増減額 (△は減少)	△350,480	930,534
その他	1,063	△53,150
小計	1,025,927	390,379
利息及び配当金の受取額	795	692
利息の支払額	△25,176	△18,130
法人税等の支払額	△232,250	△66
法人税等の還付額	—	64,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	769,296	436,972
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△610	△601
有形固定資産の取得による支出	△172,396	△337,467
無形固定資産の取得による支出	△400	—
その他	594	△203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172,811	△338,272
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△220,000	—
長期借入れによる収入	—	240,000
長期借入金の返済による支出	△114,998	△162,000
長期未払金の返済による支出	△4,058	△4,058
社債の償還による支出	△75,000	△75,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△8,129
自己株式の取得による支出	△98	—
配当金の支払額	△78,393	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△492,547	△9,252
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	103,936	89,447
現金及び現金同等物の期首残高	284,296	529,397
現金及び現金同等物の四半期末残高	388,233	618,845

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。